

## 第三者意見



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授  
中崎 清彦 先生

本報告書は各報告項目にSDGs（持続可能な開発目標。報告書2ページを参照）のアイコンをつける新しい形式でまとめられている。これは、カワイグループがこれまで進めてきた事業活動やCSR活動が、SDGsの17の目標のうち、どの目標に対応しているのかを明示するものであり、これまでも「持続可能」という国際社会の共通の目標に沿った事業を展開してきていること、これからもその取り組みを加速したいという意思が見てとれる。

報告書の最初には、2019年度に「100年ブランドの確立」をめざした第6次中期経営計画「Resonate 2021」がスタートしたことが、その目標とともに明確に示されている。さらに、2020年にはピアノづくりの原点を極める「原器工程」、先端科学技術による研究成果を活かしたピアノづくりを目指す「ピアノ研究所」、四季の自然の息吹を感じながらピアノづくりに邁進できる「森の中の緑の工房」をコンセプトとした竜洋工場が40周年を迎え、また、グランドピアノのプレステージ・モデル『Shigeru Kawai』は誕生から20周年を経て国内外の著名なピアニスト、音楽関係者から高い評価を得ている等、「100年ブランドの確立」に向けて順調な歩みを進めてきていることが示されている。

環境に対する取り組みではCO<sub>2</sub>排出量、エネルギー使用量、廃棄物排出量ともに、目標（売上高原単位で2018年比-1%）

を達成したこと、省エネルギー法対応では、グループ内事業者がSクラスを継続達成するなど、着実かつ継続的に取り組まれていることが示されている。また、海外生産系事業所についてもCO<sub>2</sub>排出量のデータが記載され、国内の取り組みを海外事業所にも展開していることがわかる。

「人材」育成の取り組みについては、女性がライフイベントを越えてキャリアアップできる職場を作るなど様々な目的のもとに女性活躍推進プロジェクト『Love it!』を立ち上げて、男女共同参画に向けた具体的な取り組みが始まっている。また、『健康経営宣言』を制定し、従業員とその家族の健康づくりを推進していることが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」にも認定されている。従業員が健康で楽しく働けることは必ず顧客の満足につながる企業活動を可能にすると思われる。

以上のように、本報告書にはこれまでの優れた取り組みの継続ばかりでなく、新しいことに対する積極的な取り組みが随所に示されており、カワイグループがより進化していることが読み取れる。新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中が深刻な影響を受けているが、これまで通りの真摯で意欲的な取り組みをおこなうことでカワイグループはこの困難を乗り越え、100年、そしてさらにその先の継続的な発展を可能にするものと信じている。

### 第三者意見を受けて

中崎先生には、本年度も引き続き、ご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、企業のESGへの取り組みやSDGsへの貢献が、企業と社会の持続的発展のための不可欠な要件となっていることから、本年度の環境社会報告書では、これらの課題への取り組みをご理解いただけるように心掛けました。この取り組みについてご評価いただいたことは大変な励みとなります。今後、重要課題に対する指標の明確化などを通して、より一層の充実が図れるよう努力してまいります。

また、長期ビジョン「100年ブランドの確立」の達成とともに持続可能な社会の実現のためには、従業員一人ひとりがCSR(企業の社会的責任)への理解を深めることが重要であるとの認識のもと、ESGへの取り組みを推進してまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)